

ごりようかくのあかまつじゅりん

五稜郭のアカマツ樹林

- 所在地／北海道函館市五稜郭町 1-1
- 規模／箱館奉行所周辺に 85 本が散在、樹齢 160 年
- 指定／特別史跡内の国有財産（文部科学省所有）として管理
- 問合せ／函館市教育委員会生涯学習部文化財課 電話 0138-21-3456



立地環境

函館山から見て扇状に広がる市街の中央部、北東約6kmの低地に設けられた特別史跡五稜郭跡の郭内に位置しています。

松原の 今昔物語

五稜郭とともに歴史を刻み、その歴史を見つめてきたアカマツ

1864（元治元）年、北方防備や蝦夷地政策の拠点として、西洋の稜堡式築城をモデルとした五稜郭が築かれ、郭内には箱館奉行所が設置されました。同時に、佐渡島から取り寄せて庭木等として植えられたのがこのアカマツです。当時、「御奉行所向」に444本を植えたとの記録が残っています。

戊辰戦争最後の戦いとなった箱館戦争終結後、1871（明治4）年に奉行所をはじめとした郭内の建物は大半が解体されたため、五稜郭築造当時の姿をとどめるのは、土塁や石垣、土蔵（兵糧庫）1棟と現存するアカマツ 85本のみであることから、歴史的価値が高いといえます。

アカマツは老木となり、本数は減少傾向にあります。現在は毎年、剪定や樹木医による診断を継続的に行い、大切に管理しています。

都市公園「五稜郭公園」としても親しまれる五稜郭跡のなかで目立たない存在ではありますが、今も五稜郭跡とともにその歴史を刻んでいます。

文と写真：函館市教育委員会生涯学習部文化財課

参考 HP アドレス：<https://www.hakodate-jts-kosya.jp/park/goryokaku/>



COLUMN

●長年の発掘成果や文献調査の結果、2010（平成22）年に箱館奉行所が復元され、現在は築造当時の姿を見ることができるようになりました。奉行所では、五稜郭や箱館奉行所、箱館戦争などの歴史展示や世界の星形城郭の紹介、奉行所の復元プロジェクト等が分かりやすく展示されています。

●五稜郭といえばサクラの名所でもあり、花見時期には約1,500本が咲き誇ります。五稜郭タワーからの眺めは一見の価値あり。

ACCESS

●函館市電の場合

五稜郭公園前下車徒歩15分

●函館バスの場合

函館駅前から五稜郭公園入口下車徒歩10分

●車の場合

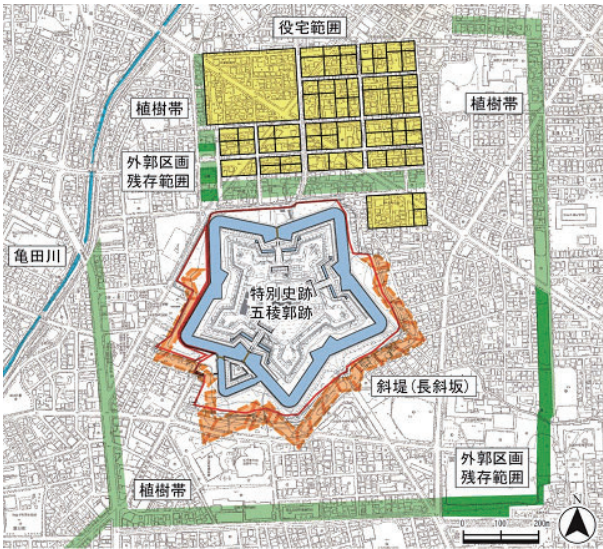
五稜郭観光駐車場（函館市五稜郭町27-7）まで、函館空港から約10km、函館駅から約4km





タワーから見た奉行所周辺のアカマツ樹林

奉行所正面に立ち周囲を見渡すと周辺のアカマツの大きさが目を引き（大きいもので樹高は20mを超える）、160年の時の流れを感じさせる。五稜郭タワーから見ると周辺の樹林全体を見渡することができる。



五稜郭外郭

五稜郭築造とともに植えられたアカマツは、郭外の北側に設けられた役宅や五稜郭の周囲に防風・防砂林として方形に設けられた樹林帯にも存在した。現在もごく一部ではあるが残存し、往時の姿をとどめている（五稜郭風致・保健保安林）。



4月下旬～5月上旬頃、約1,500本の桜が咲き誇る

全国の皆様に松原を身近なものと感じ、気軽に散策していただくことを意図して、2007年に冊子『**身近な松原散策ガイド**』を作成しました。現在、ウェブサイト「**身近な松原散策ガイド**」において、新たな松原を追加して47都道府県124か所の松原を紹介しています。松原に足を運び、白砂青松をお楽しみください。

